

プレセッターSU片持ち梁金物 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用 途

■ BXカネシン金物工法「プレセッターSU」で、片持ち梁を支える金物です。



ハウスプラス確認検査(株)評価書

特 長

- 従来の持ち出し梁と併せることで2方向(廻り)バルコニーを実現することができます。
- 積雪等の荷重条件が厳しい場合に、梁成を低く抑える効果が期待できます。
- 片持ち梁の長さは最大1,000mmまで対応できます。
- クロムフリー高耐食金属表面処理の「プロイズ」を採用し、環境に配慮した製品です。

構 成 品

1セットの内訳表

	名称	数量(1セット)
本体	①PSC-アングル	1個
	②PSC-プレート	1枚
付属品	③専用ビス YPR-85(Mブロンズ)	72本

注意事項

- 必ず付属の専用ビスで床合板と梁を接合してください。金物だけでは片持ち梁を支えることはできません。
- ご使用前に必ずホームページの「プレセッターSU片持ち梁金物 設計・施工マニュアル」をご確認ください。
- プレセッターSU梁受金物は、最新のプレセッターSUマニュアルに記載される使用方法、注意事項をよく読んでご使用ください。
- 使用箇所は片持ち梁の安全性のため、マニュアルに沿い検定してください。ホームページのユーザー専用サービスに検定ツールをご用意しています。
- 床合板・梁の必要寸法、耐力数値は「プレセッターSU片持ち梁金物 設計・施工マニュアル」をご確認ください。
- 防水処理を施すまでは、ブルーシート等を使用して水がかりのないように注意してください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の効果が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。



施工が完了するまでは片持ち梁に乗ったり、物を載せたりしないでください。

施工方法は **中面** をご覧ください。

施工方法



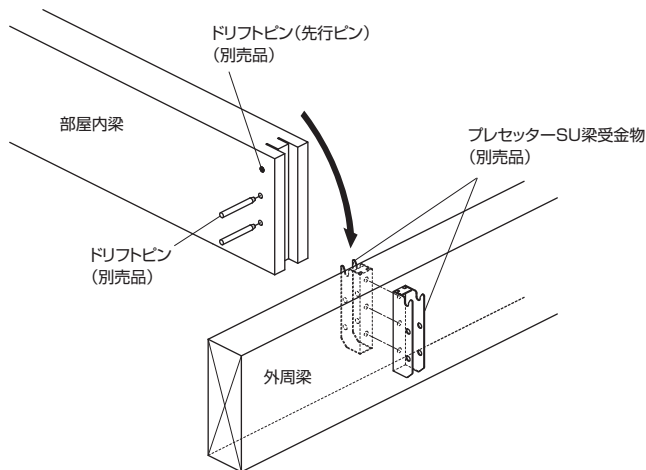
施工が完了するまでは片持ち梁に乗ったり、物を載せたりしないでください。

① 外周梁に部屋内梁を接合します。

- ・外周梁と部屋内梁をドリフトピン（別売品）で接合します。



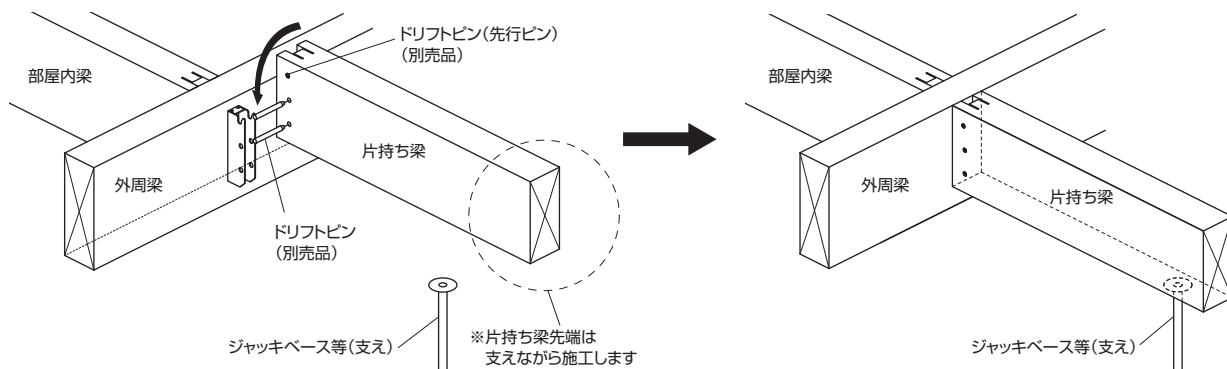
部屋内梁、片持ち梁を外周梁にかける際には、かけや等でたたかないでください。梁が割れる恐れがあります。



② 外周梁に片持ち梁を接合します。



「施工方法②～⑤」は必ず同日に行ってください。



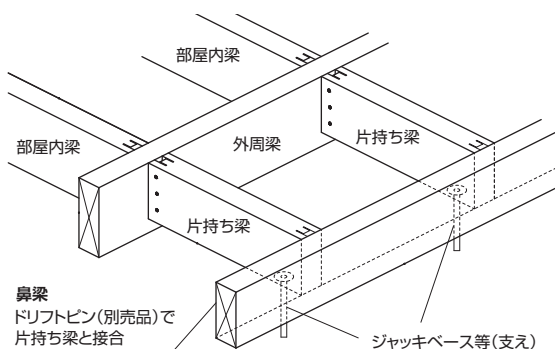
③ 鼻梁（片持ち梁先端にかける梁）を施工します。

- ・鼻梁と片持ち梁をドリフトピン（別売品）で接合します。

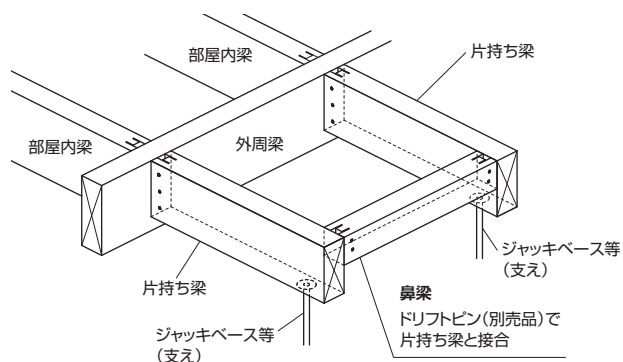


外周梁に片持ち梁を接合した後も、全工程が終わるまで支えは外さないでください。

鼻梁勝ちの場合



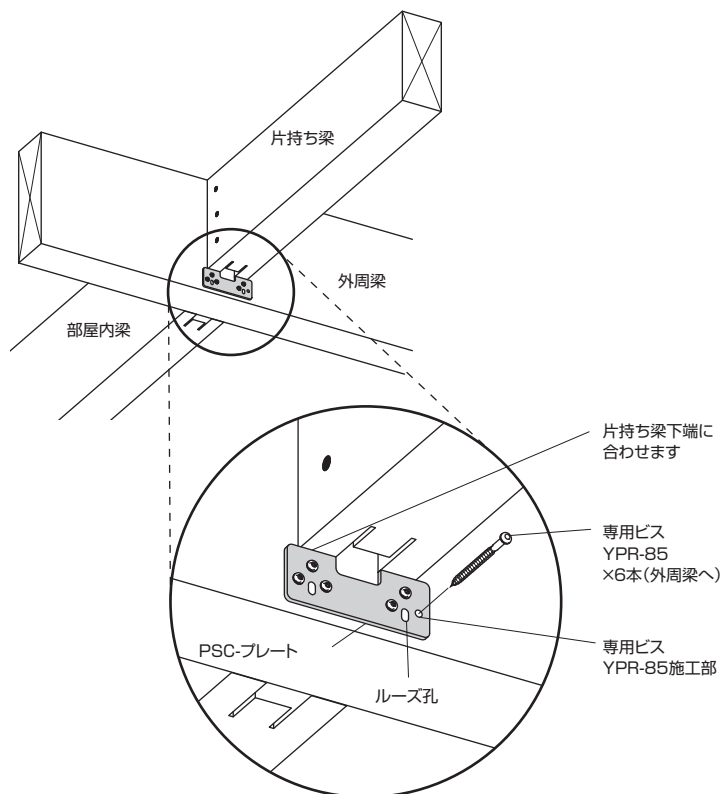
鼻梁負けの場合



④ プレセッターSU片持ち梁金物を接合します。
(ビスの施工順がありますので、下記の順番通りに施工してください。)

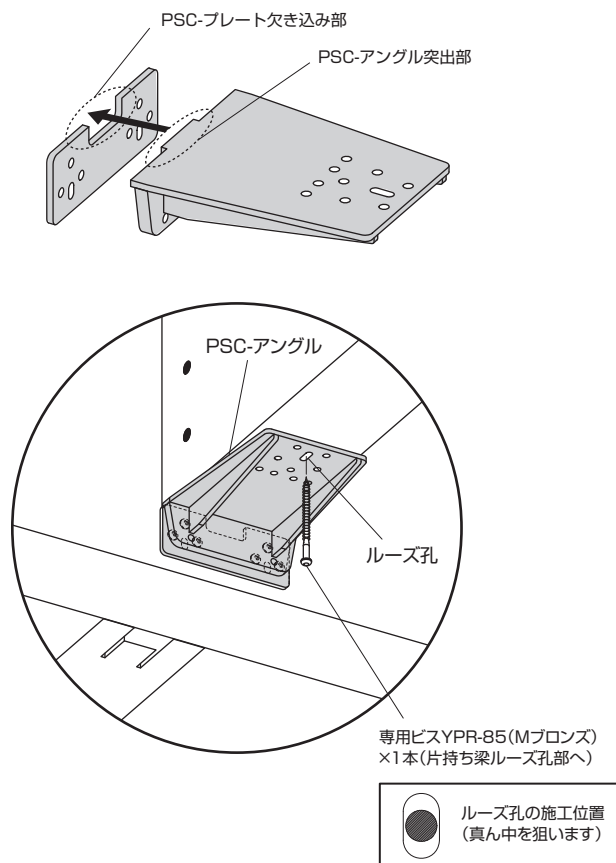
〈1〉PSC-プレートを接合します。

- ・PSC-プレートの欠き込み部の幅と片持ち梁のスリット加工幅の位置を合わせ、片持ち梁下面にぴったりとくっつけてΦ2.5mm程度の先孔をあけ、専用ビスYPR-85 (Mブロンズ) を施工します。
- ・専用ビスYPR-85 (Mブロンズ) の施工部は6か所あります。(ルーズ孔には施工しません。)



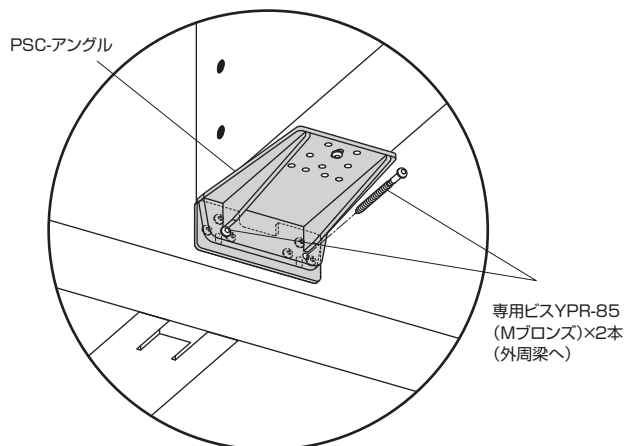
〈2〉PSC-アングルの片持ち梁側にあるルーズ孔に専用ビスYPR-85 (Mブロンズ) を施工します。

- ・PSC-アングルの突出部をPSC-プレートの欠き込み部に納め、PSC-プレートに押し付けながら施工します。

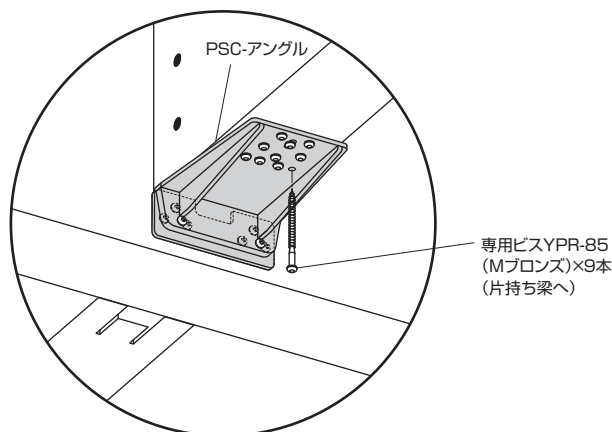


〈3〉PSC-アングルの外周梁側の孔 (2箇所) に専用ビスYPR-85 (Mブロンズ) を施工します。

- ・強めにビスを締め付けてください。



〈4〉PSC-アングルの片持ち梁側にある残りの孔 (ルーズ孔以外) に専用ビスYPR-85 (Mブロンズ) を施工します。

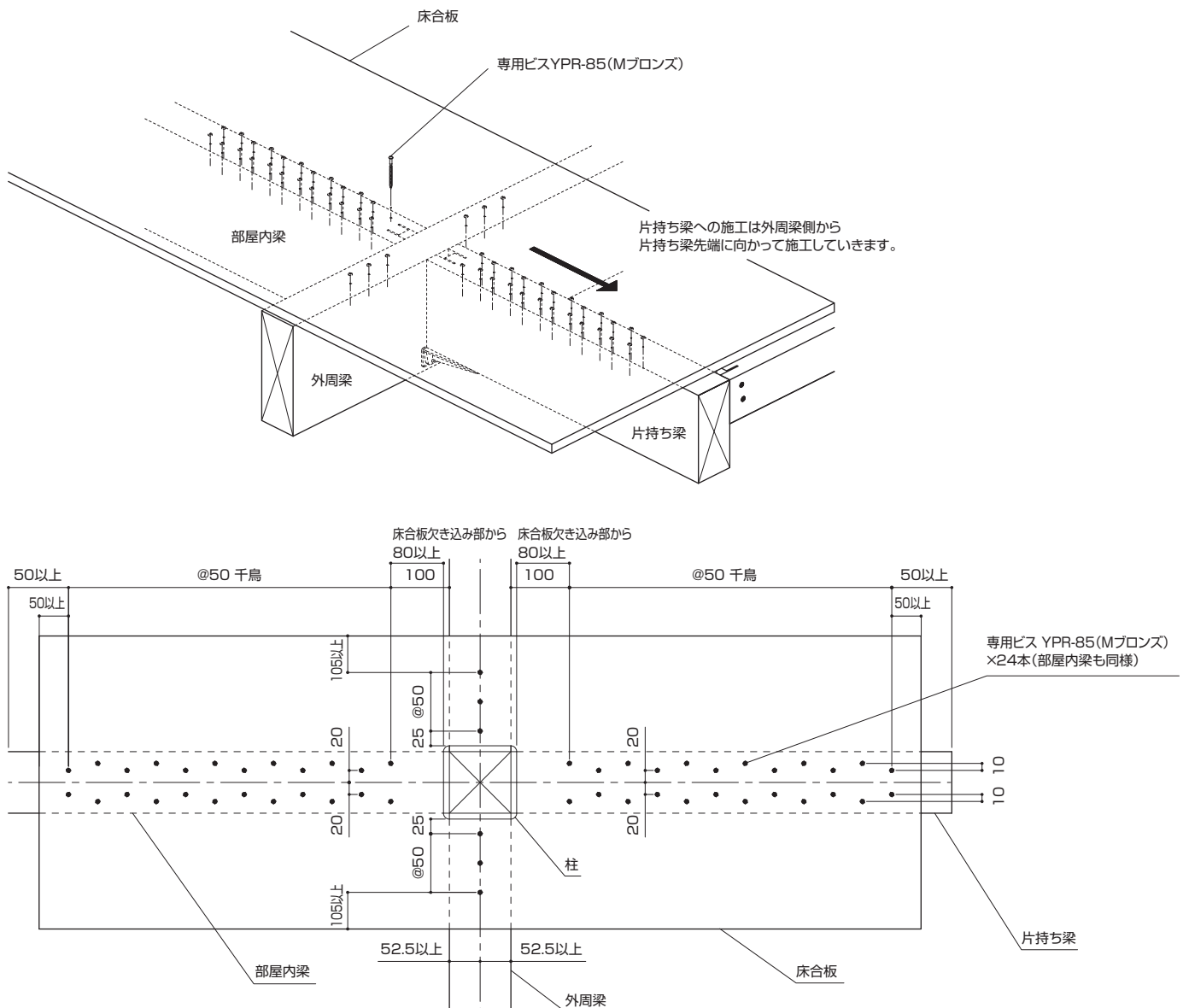


裏面 へ続く

中面 の続き

⑤床合板に専用ビスYPR-85(Mブロンズ)を施工します。

- ・専用ビスYPR-85（Mブロンズ）は下図のように施工します。
- ・最初に部屋内梁と外周梁に施工し、最後に片持ち梁に施工します。
- ・専用ビスYPR-85（Mブロンズ）の本数・ピッチは下記を確認し、正確に墨出しをしてください。
- ・専用ビスYPR-85（Mブロンズ）の他に、水平構面用の釘の施工は通常通り（ビス施工に加えて）行ってください。
- ・片持ち梁には、外周梁側から片持ち梁先端に向かって施工してください。この場合に限り、専用ビスYPR-85（Mブロンズ）を施工した位置より外周梁側には乗ることができます。



ビスの必要本数	
片持ち梁	24 本
外周梁	6 本
部屋内梁	24 本